

社会保険労務士 山下事務所 は 「この会社で働くことができてよかった」 そう思えるような会社作りのお手伝いを致します

### ★企業の成長は信頼と社員の成長が鍵★

◆経済状況や個々の企業の経営状態が悪化してくると、労働市場や現場が荒れてくると言われています(Rnewsでも既報済)。

◆経営状態の悪化や業績の停滞を、経済のせいにするのは簡単です。しかし、「不況だから仕方がない、今はガマン。」という一言で片付けるには早すぎるのではないのでしょうか。

◆勿論、「考えられる限りの手を打つ。可能な限りの経費削減を行う。」等の対策は当然に実施することでしょう。

◆ここで申し上げたいのは、「どこの企業でも取るような対策を講じておけば良い」ということではなく、『ピンチに陥った時にどう対処するかということ、正に全社一丸となって取り組むことが出来る体制にあるか』、ということです。

◆社員の心が逃げるといことは、「会社に協力しようとはしなくなる」ということです。逆に、事が起こると怒涛のように批判を浴びせます。

◆ある会社の事例を紹介します(お客様の了解は得ています)。その会社の社員に、次のような質問をしました。

- ・今後ともこの会社で働き続けたいと思いませんか？
- ・仕事の将来や会社の経営に安心感を持っていますか？

この質問に対する指標(標準偏差のようなものです)は、それぞれ約64、約42なのですが、これが1/2を下回ると、信頼関係が崩れている状態だと判断できると言われています。

結果、出てきた数字は、それぞれ約20、約16。

◆この企業様は、積極的に様々な対策を講じていらっしゃいました。某大手コンサルタント会社に依頼して人事制度を作り、待遇についても、そこそこの制度を導入されていました。それにも係らず、この結果です。

◆経営者様は、目も当てられない程のショックを受けていらっしゃいました。早速、信頼関係構築の取組みを開始したことは、言うまでもありません。

◆それと同時に、人事制度の再構築も始めました。何故ならば、社員の不満がある指標に極端に傾いていたからです。その指標とは、『コミュニケーション』と『処遇』です。

◆つまり、上司との対話に大きな壁があり、処遇に関して正当な評価がなされているか否かに、大きな不満があったからです。

◆こういった、壁と不満を解消する過程において、徐々に信頼関係が構築されてきています。会議の席上での発言も増えてきているようです。

◆今回は、ある企業様の事例を少々オープンにさせて頂きましたが、何もないと思っていたところに、とんだ落とし穴がありました。『何もところにこそ何かがある』のです。

◆「一度ショックを受けてみませんか？」とまでは言いませんが、社員の本当の気持ちを知る術を、ほとんどの企業は持っていないのは事実です。何故ならば、社員には、「本音を発言する勇氣」を持っていないからです。

◆この本音にこそ、企業の成長、すなわち、業績向上のヒントが隠されているのです。

◆常時、本音で対話することができれば、経営者様の両腕となり、経営者様の悩みも半減することでしょう。何故ならば、社員が常に前を向き始めるからです。

◆今後お伝えすることが、御社の悩み解決のヒントになればと存じます。

JREPOに関するお問い合わせは下記まで

## 社会保険労務士 山下事務所

〒815-0071 福岡市南区平和2-23-2  
Phone 092-982-2595 Fax 092-523-1836  
E-Mail : [office-srry@sr-yamashita.com](mailto:office-srry@sr-yamashita.com)  
ホームページ : <http://sr-yamashita.com>

### 【業務案内】

- |            |            |
|------------|------------|
| ★就業規則の作成変更 | ★401k導入支援  |
| ★人事賃金制度の構築 | ★セミナー／講演   |
| ★管理者研修の実施  | ★各種助成金の申請  |
| ★退職金制度の構築  | ★労働／社会保険手続 |

事務所は不在がちです。ご連絡は、お電話もしくはE-mailでお願い致します。